



表



裏

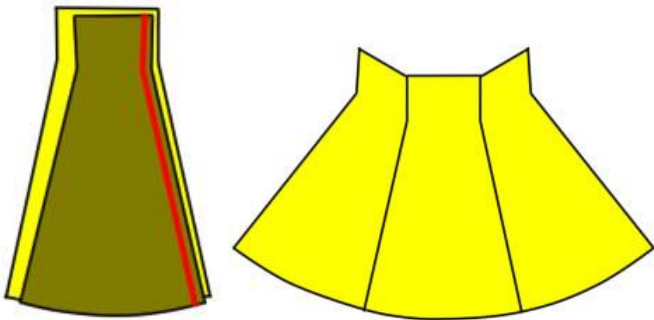
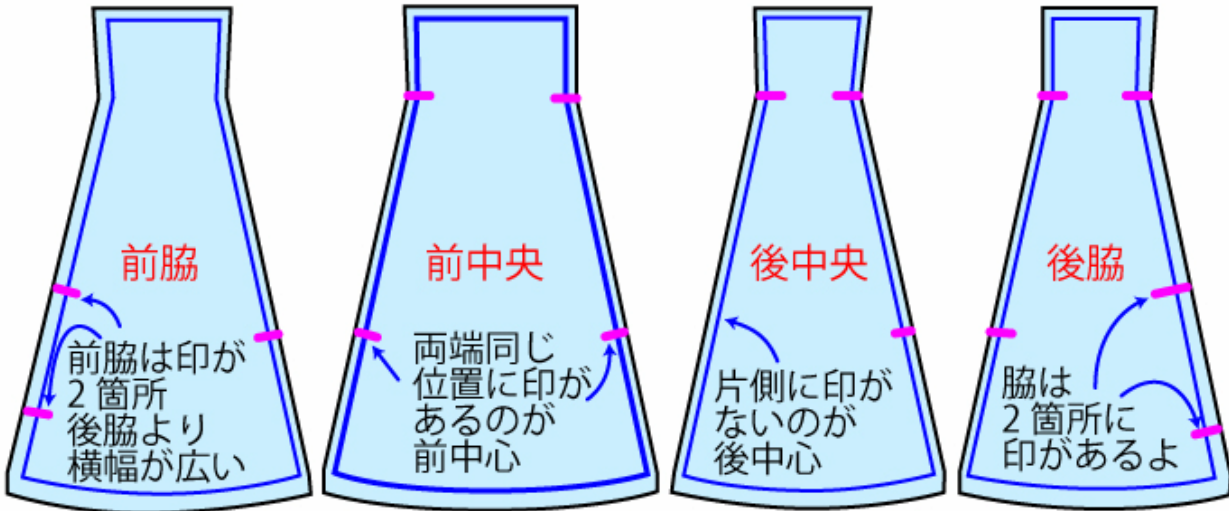


接着芯

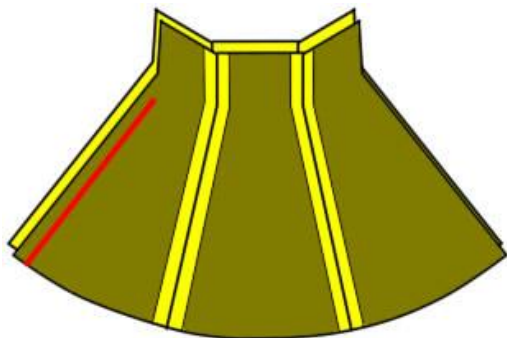
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めしてください。型紙に指定された場所の裏に接着芯を付けてください。

くわしくは縫う前の下準備を参照してください。

型紙を外した後パーツが区別がつきにくくなりますよね
そんなときは印と幅とで区別をつけてください



後中心、前中心に脇パーツを縫い付けてください。



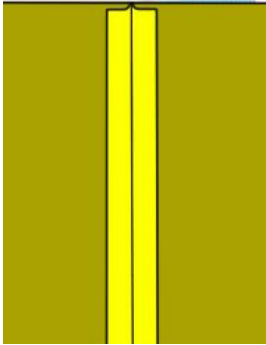

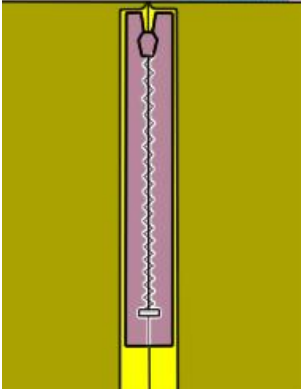
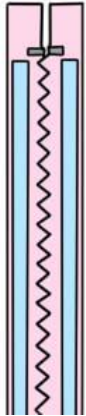
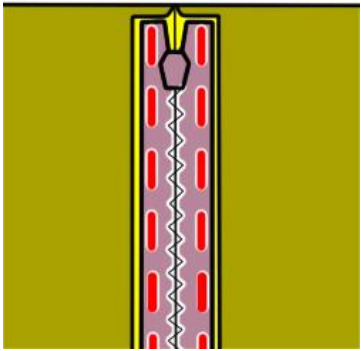
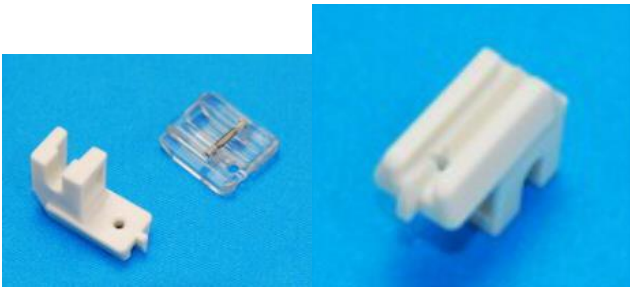

後と前を内側が表になるように重ねてください。

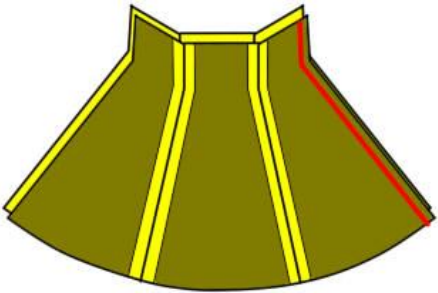
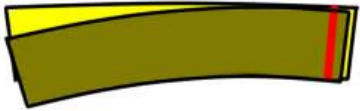
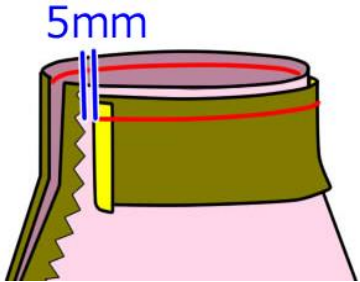
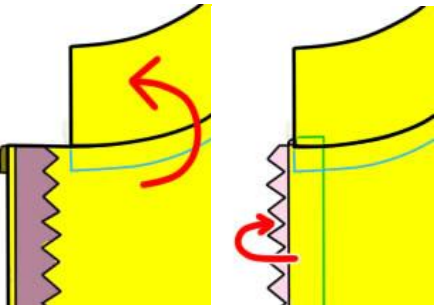
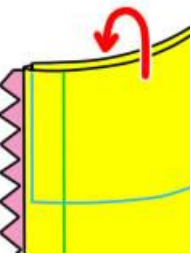
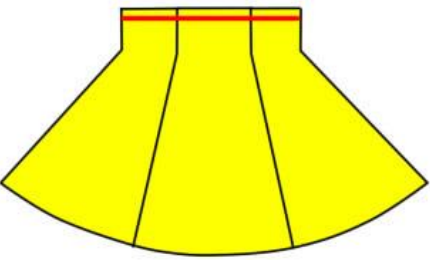
ファスナーを付ける所の脇を縫ってください。

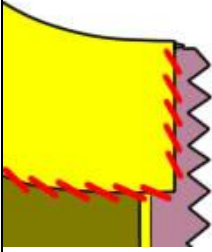
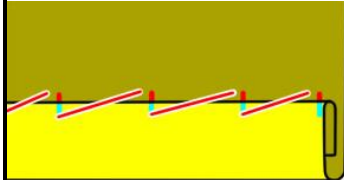

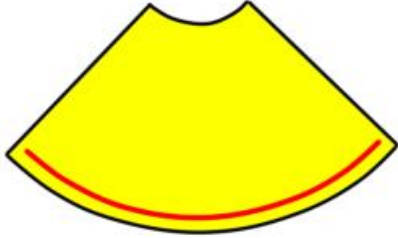
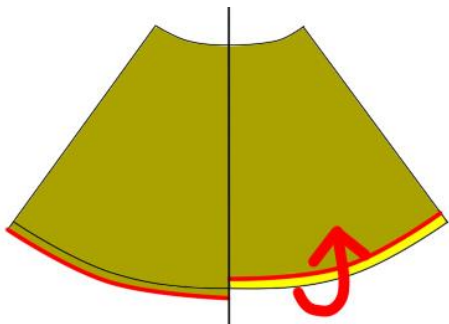
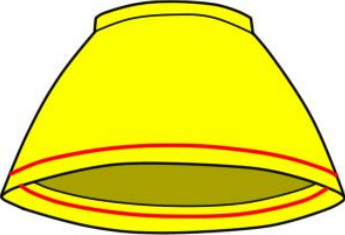


脇のファスナーをつける位置を大きな縫い目で縫ってください。

あとでほどくので大きい縫い目にしておくとほどきやすいですよ

	<p>縫ったら、縫い目の長さを 2~3mm に戻し、アイロンで縫い代を左右に広げてください。</p>  <p>これを洋裁用語で割るといいます</p>
	 <p>あれば熱接着の両面テープをファスナーの表面に貼ってください。 裏を上にして生地を置いてください。 熱接着の両面テープのはくり紙をはがしてください。 縫い代の上に、裏を上にしたファスナーを置く。 アイロンで固定してください。</p>
	<p>熱接着の両面テープが無い場合</p> <p>れば手縫いで 2cm くらいの大きい縫い目でしつけ糸でファスナーと、縫い代だけを開きどまりの所まで大雑把に縫ってください。</p>
	<p>ミシンの押さえをコンシールファスナー押さえに替えてください。</p> <p>このコンシールファスナー押さえは一般的な家庭用ミシンであれば数百円で購入ができます。</p> <p>左側は軸から替えるタイプ、右は後のボタン押して押さえを交換するタイプ用</p> <p>コンシールファスナー押さえはこのように裏側に溝が入っています。</p>
	<p>この溝にファスナーのムシ(レール部分)を入れて縫うと、ファスナーのムシのそばギリギリを縫うことができます</p> <p>そして開きどまりまで縫ってください。</p> <p>これでファスナー付け完成</p>

	<p>反対の脇を縫ってください。</p>
	<p>見返しを縫ってください。 見返しを両方表が内側になるように重ねてください。 ファスナーを付けない方の脇だけ縫ってください。</p>
	<p>表にしたスカートに裏を上にした見返しを重ねてください。 見返しの両端はファスナーより 5mm 手前で折ってください。</p>
	<p>見返しを上に向かって折ってください。 ファスナーを裏に折ってください。</p>
	<p>見返しを裏へかぶせてください。 アイロンをかけて形を固定してください。</p>
	<p>上から 5mm の所を直線で縫ってください。</p>

	<p>見返しの下側をまつり縫いしてください。</p>  <p>折り山を浅く(繊維1~2本程度)すくって、1ミリ斜め先の布をすくいます。折り山の内側をとおって裏になる方の5ミリ先から針を出し、また、1ミリ先の表を浅くすくう。コレの繰り返し。</p>
	<p>すその縫い方。 すその縫い代はカーブのため、端の部分(赤い部分)と出来上がりの部分(青い線)では、端線の方が長いです。 このまますそ上げをすると、端の方が出来上がりの長さより長いので、しわがよって綺麗にすそ上げが出来ません。</p>
	<p>よってほつれ止めをしたあとに、すそから5mmくらいの所に、ギャザーを寄せてください。 ギャザー寄せの仕方を参照下さい。</p>
	<p>下から2cmのところを折り、アイロンで曲線がきれいに出るようにアイロンで押さえながら、ギャザーの量を調節してください。</p>
	<p>ヒダを広げすその縫い代をアイロンで折り目をつけてください。 すそから1.5cmくらいの所をぬってください。</p>

必要な材料

表生地、接着芯、コンシールファスナー 28cm以上のもの、糸

おすすめの生地

綿やポリエステルツイル

薄いものだと貧相になりやすいのと、ハイウエストの部分をしっかり立たせたいので、あまり薄いものはさけたほうが良いと思います。

好みの柄が薄いものしかない場合は、見返しをツイルなどにして、はりを持たせてください

ハイウエストのスカートの縫い方 4 手作り服の作り方と型紙USAKOの洋裁工房 <http://yousai.net>